

科目名	高次脳機能障害作業療法学演習【作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	松 尾 崇 史・田 平 隆 行						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必 修（作業）
授業の概要 及びねらい	・高次脳機能障害作業療法における評価の実際を説明する。 ・一連の作業療法実践過程とクリニカルリーズニングや治療理論との関係を説明する。 ・模擬事例をもとに評価、生活機能の把握、ゴール設定の一連の流れを説明する。 ・急性、回復、維持期の各病期に応じた作業療法について説明する。						
授 業 の 到 達 目 標	・高次脳機能障害作業療法における評価を実施することができる ・一連の作業療法実践過程とクリニカルリーズニングや治療理論とに関係があることを理解 できる。 ・模擬事例をもとに評価、生活機能の把握、ゴール設定の一連の流れが理解できる。 ・急性、回復、維持期の各病期に応じた作業療法について理解できる。						
学習方法	講義・演習						
テキスト及 び参考書等	鎌倉矩子：高次脳機能障害の作業療法，三輪書店						
評価基準・方法	到 達 目 標					技能・表現	評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度				
定期試験	◎	◎				○	80
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度			○			○	20
受講者の発表							
授業への参加度		◎					
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
<b>授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）</b>							
第 1 週	オリエンテーション、高次脳機能障害総論						
第 2 週	失語症の評価の演習						
第 3 週	失認症の評価の演習						
第 4 週	失行症の評価の演習						
第 5 週	記憶障害の評価の演習						
第 6 週	注意障害の評価の演習						
第 7 週	前頭葉機能障害の評価の演習						
第 8 週	高次脳機能障害者への就労支援						
第 9 週	臨床実践に基づく失認症の治療の演習 1						
第 10 週	臨床実践に基づく失認症の治療の演習 2						
第 11 週	臨床実践に基づく失行症の治療の演習						
第 12 週	臨床実践に基づく注意障害の治療の演習						
第 13 週	臨床実践に基づく遂行機能障害の治療の演習						
第 14 週	臨床実践に基づく記憶障害の治療の演習						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	予習復習に心がけてください。						